

2022年3月期
第3四半期 決算説明資料

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
2022年1月31日

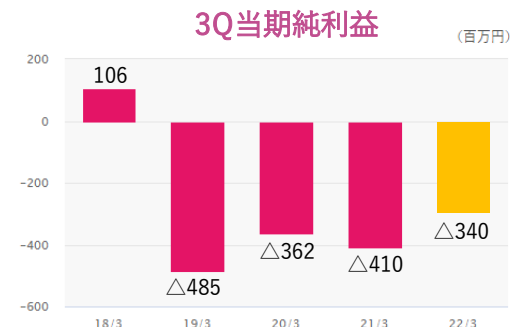
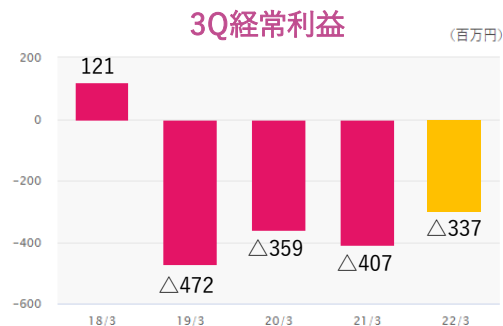
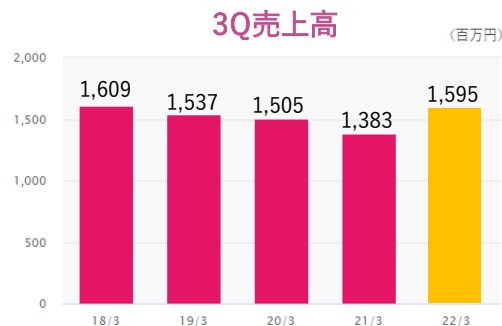


(東証JQグロス：7774)

1.	決算サマリー	---	2
2.	2022年3月期 第3四半期の業績	---	3
3.	第3四半期のトピックス	---	12
4.	通期業績予想の修正について	---	19
5.	参考資料	---	21

決算サマリー

- ✓ 当第3四半期累計期間の売上高は、再生医療製品事業と研究開発支援事業の売上拡大により堅調に推移し、1,595百万円（前年同期比15.3%の増加）となった。
- ✓ 営業損失は339百万円、経常損失は337百万円、当期純損失は340百万円となり、前年同期と比べ、それぞれ70百万円、69百万円、69百万円改善した。
- ✓ 一方で、再生医療受託事業の売上見込み減少により、2022年1月31日付で通期業績予想を下方修正した。



財務ハイライトはこちら <https://www.jpce.co.jp/investors/financial-highlights/index.html>

注目ポイント

- ✓ 当社4つ目の製品：自家培養口腔粘膜上皮オキュラルが、2021年12月1日付で保険収載された。
- ✓ 2021年11月に他家（同種）培養表皮の治験を開始した。当社初の他家製品として医療機器へ展開し、将来は海外展開も視野に入れ、より大きな市場を目指す。

2. 2022年3月期 第3四半期の業績

損益計算書の概要

✓ 当第3四半期累計期間における事業別の売上高は、以下のとおり。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2021年3月期		2022年3月期		
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	対前年同期	
				増減額	増減率
売上高合計	1,383	2,257	1,595	212	15.3%
ジェイス	671	978	769	97	14.5%
ジャック	260	331	282	22	8.5%
その他	5	18	59	53	956.3%
再生医療製品事業	937	1,328	1,110	173	18.5%
再生医療受託事業	308	721	309	0	0.1%
研究開発支援事業	136	207	175	38	28.3%
売上総利益	724	1,156	984	260	35.9%
売上総利益率	52.3%	51.2%	61.7%	—	9.3%
販売費及び一般管理費	1,134	1,623	1,324	189	16.7%
営業損失	△410	△466	△339	70	—

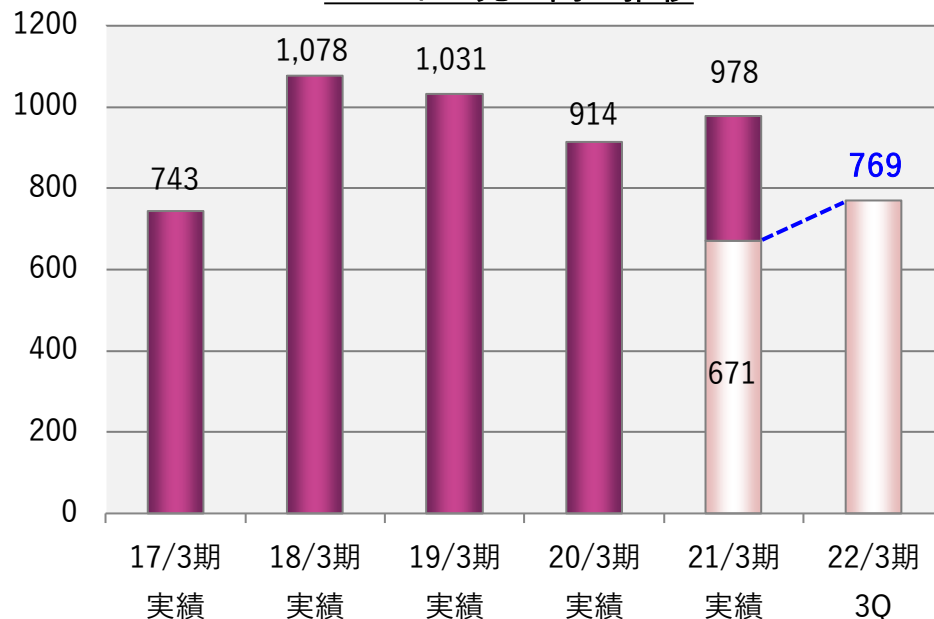
自家培養表皮ジェイス

- ✓ 当第3四半期累計期間の売上は、769百万円（前年同期比14.5%増）。
- ✓ 冬季に入り重症熱傷患者が増加。当社は営業活動を通じて医師への情報提供を継続的に行い、適応症例の受注につながる活動を実施した。先天性巨大色素性母斑では拠点施設への全国からの集患促進、表皮水疱症では市場への認知度向上を積極的に図ったことなどが奏功し、前年同期に対して売上が増加した。



(百万円)

ジェイス売上高の推移



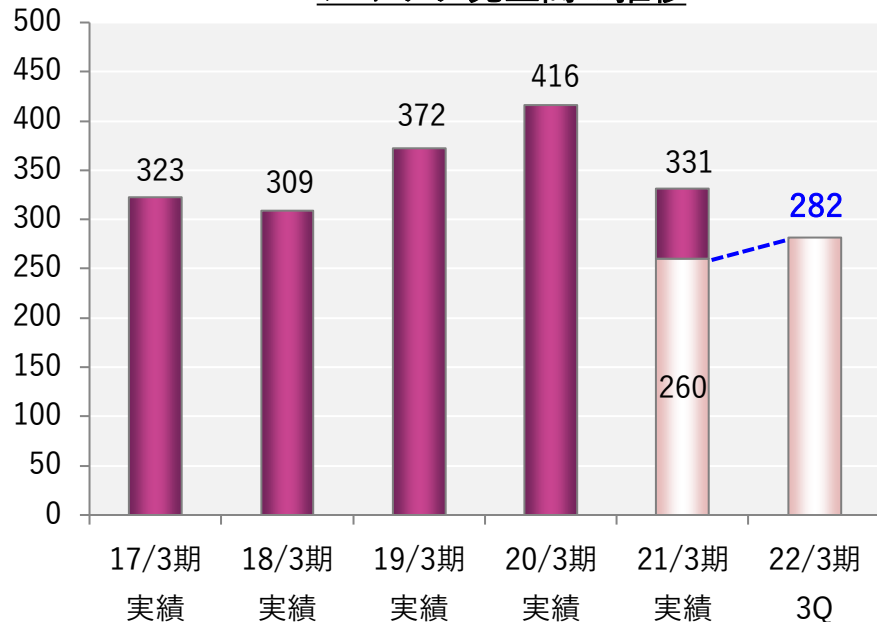
自家培養軟骨ジャック

- ✓ 当第3四半期累計期間の売上は、282百万円（前年同期比8.5%増）。
- ✓ 学会や研究会などは対面開催が少しずつ増えつつある。医師とのコンタクトも多くなり、大口施設からの安定受注に加えて新規施設へのアプローチが奏功した。また、ジャックの使用を一時停止していた施設からの受注が再開し、前年同期に対して売上が増加した。



(百万円)

ジャック売上高の推移

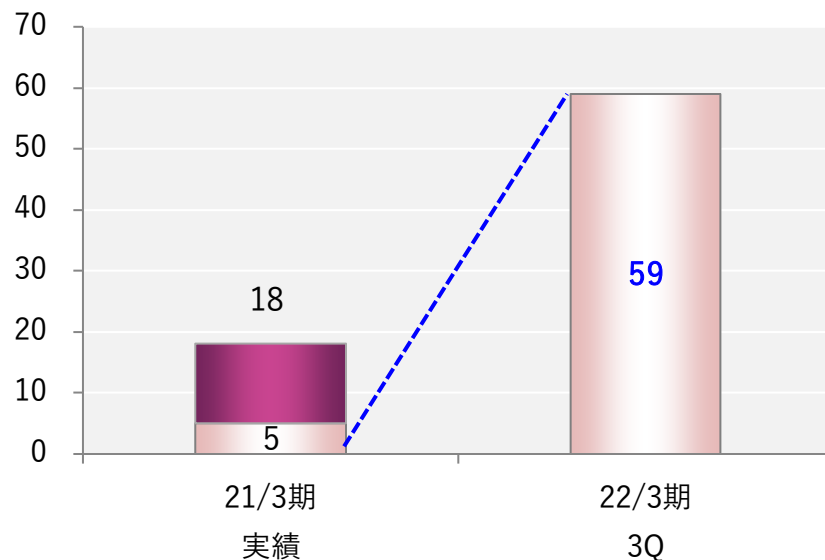


その他

- ✓ 第3四半期累計期間の売上は、59百万円（前年同期比956.3%増）。
- ✓ 2020年6月に保険収載されたネピックについて複数の受注を獲得し、移植が実施された。
- ✓ 当社4つ目、眼科領域で2つ目の再生医療等製品である自家培養口腔粘膜上皮「オキュラル」が、2021年12月1日付で保険収載された。



（百万円） その他の売上高の推移



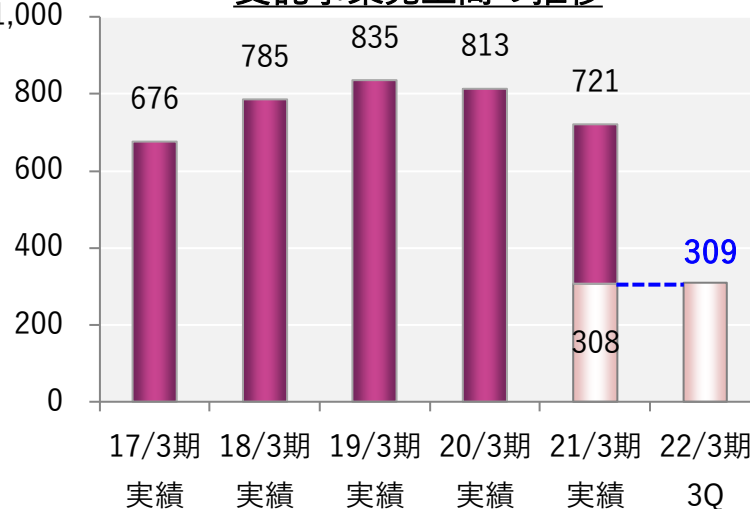
再生医療受託事業

- ✓ 当第3四半期累計期間の売上は、309百万円（前年同期比0.1%増）。前年同期とほぼ同じ売上となった。
- ✓ 2021年2月から3月にかけて、帝人株式会社（以下、「帝人」）が当社普通株式に対する公開買付を実施し、その結果、2021年3月に当社の親会社及び筆頭株主が富士フイルム株式会社（以下、「富士フイルム」）から帝人へ変わった。これを受け、富士フイルムからの受託開発の取り扱いに関して同社と協議を重ね、これを継続しないことで合意し、取引停止することとなった。今年度内に引継ぎを完了する。
- ✓ これに伴い、再生医療受託事業において生じる人的余力とスペースについては、今後、帝人および第三者からの新規受託に充てるべく準備を進めており、来年度からはこれらの受託収入が加わる予定。



(百万円)

受託事業売上高の推移



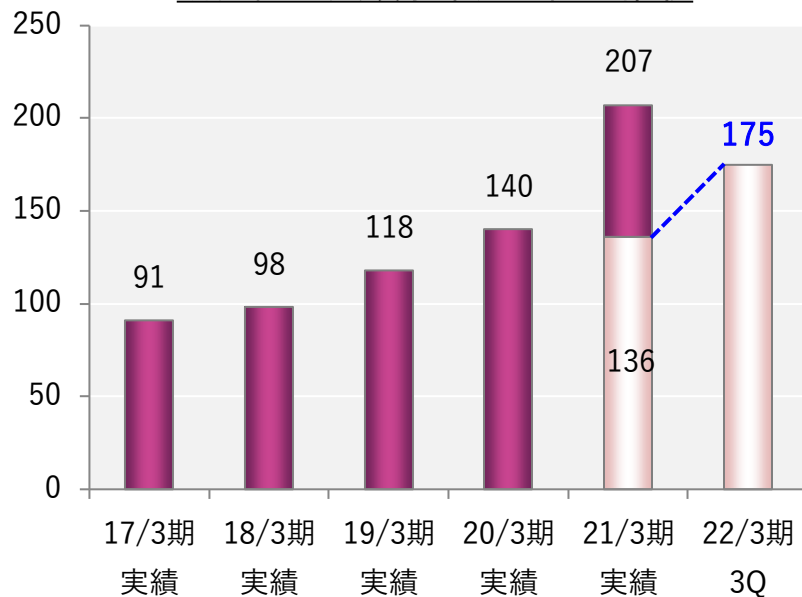
研究開発支援事業

- ✓ 当第3四半期累計期間の売上は、175百万円（前年同期比28.3%増）。
- ✓ 引き続きオンラインツールを最大限に活用し、各顧客のニーズに合わせた迅速かつ丁寧なアフターフォローを実施した。その結果、前年同期に対し売上が大きく増加した。
- ✓ 12月には台湾の顧客を対象にオンラインセミナーを開催し、海外に向けた営業活動を展開。海外からの引き合いも増えてきた。

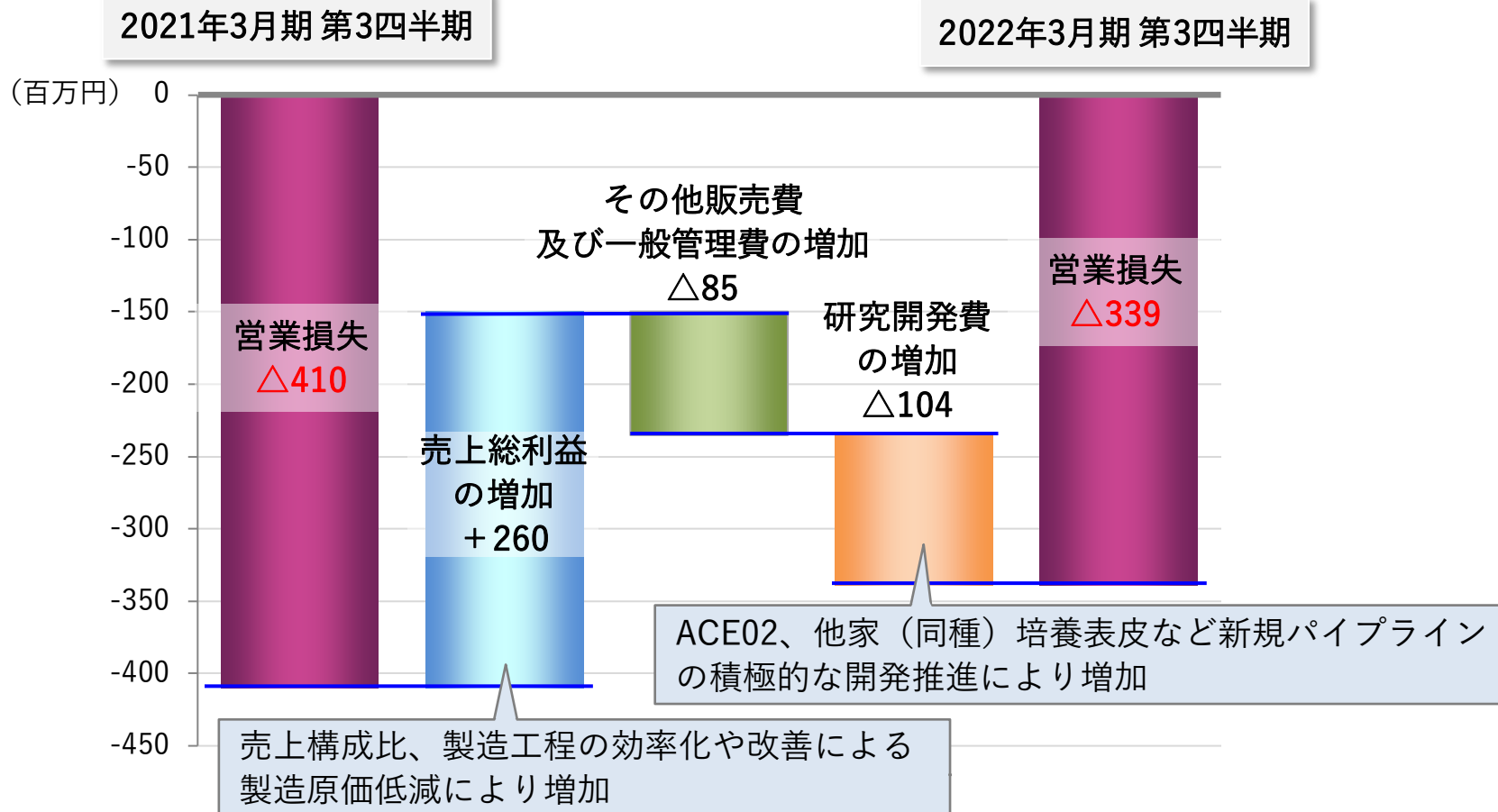


(百万円)

研究開発支援事業売上高の推移



営業損益増減の内訳



貸借対照表の概要

(単位：百万円) (百万円未満切捨て表示)	2021年3月期 2021年3月31日	2022年3月期 2021年12月31日	増減額	
流動資産	6,544	6,018	△526	売上債権等の減少
固定・繰延資産	1,574	1,582	7	
資産合計	8,119	7,600	△518	
流動負債	919	741	△177	仕入債務等の減少
固定負債	35	35	0	
負債合計	954	776	△178	
資本金	4,958	4,958	0	
資本準備金	2,788	2,788	0	
利益剰余金	△582	△923	△340	四半期純損失の計上
純資産	7,164	6,823	△340	
負債・純資産合計	8,119	7,600	△518	

3. 第3四半期のトピックス

第3四半期 トピックス一覧

2021年

ピックアップ

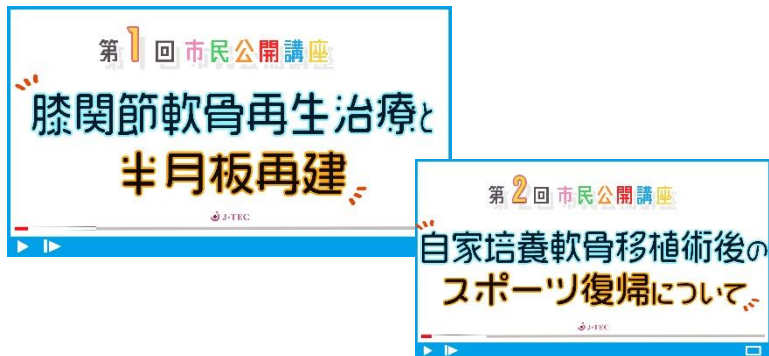
10月20日	J-TEC市民公開講座を掲載開始 第1回「膝関節軟骨再生治療と半月板再建」	(1) 啓蒙活動
11月1日	コラム「再生医療★インサイド」連載開始 ～ずっと再生医療をやってきて思うこと～	
11月15日	J-TEC市民公開講座 第2回 「自家培養軟骨移植術後のスポーツ復帰について」	
11月22日	コラム「再生医療★インサイド」 ～再生医療に興味をもっていただけますか～	
11月25日 (適時開示)	他家（同種）培養表皮 Allo-JaCE03：治験開始のお知らせ	(2) 他家製品 治験開始
12月10日	自家培養口腔粘膜上皮 発売のお知らせ	(3) オキュラル保険収載
12月13日	コラム「再生医療★インサイド」 ～1999年に再生医療という言葉が生まれました～	
12月15日	J-TEC市民公開講座 第3回「スポーツによる膝のけがと痛み」	
12月17日	日興アイ・アール「2021年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」調査にて当社ホームページが新興市場表彰 優秀サイトに選出	(4) ホームページ充実度

(1) 啓蒙活動

- ✓ 一般の方への啓蒙を目的に、当社ホームページへ動画やコラムの掲載を開始した。

J-TEC市民公開講座

- ✓ 一般の方々に「整形外科」の最新情報を定期的にお届けするため、自家培養軟骨移植術を多数ご経験されている整形外科の先生を講師にお招きし、「J-TEC市民公開講座」動画を公開開始。



コラム「再生医療★インサイド」

- ✓ 当社代表取締役 畠 賢一郎が、再生医療に関する様々なトピックについてお話しするコーナーとして、新たなコラム「再生医療★インサイド」の連載を開始。



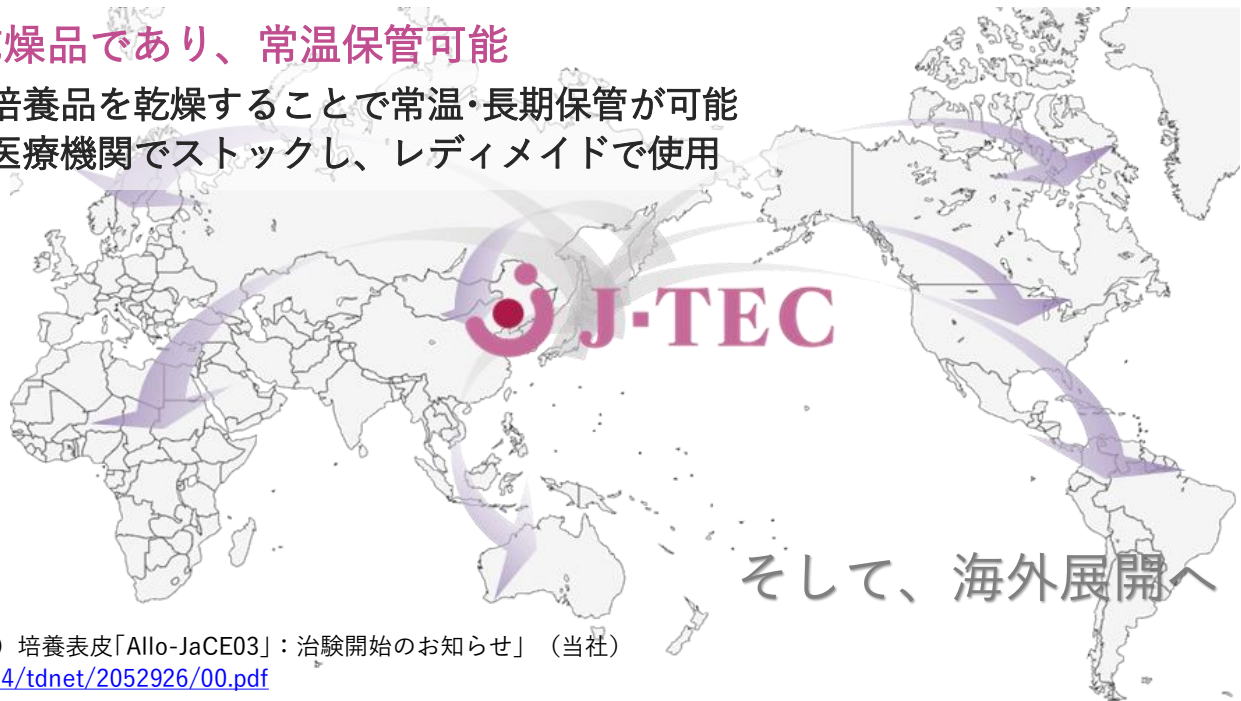
(2) 他家（同種）製品 治験開始

- ✓ 2021年11月25日に、他家（同種）培養表皮（開発名：Allo-JaCE03）の治験計画届書を独立行政法人医薬品医療機器総合機構に提出した。
- ✓ 「Allo-JaCE03」の開発を通じて医療機器に関する知見・ノウハウを獲得し、他家細胞（他人の細胞）を用いる領域へ事業を拡げ、より大きな市場を目指す。そして、海外展開も視野に入れる。



乾燥品であり、常温保管可能

- ・ 培養品を乾燥することで常温・長期保管が可能
- ・ 医療機関でストックし、レディメイドで使用



乾燥他家培養表皮（医療機器）

出典）2021年11月25日開示「他家（同種）培養表皮「Allo-JaCE03」：治験開始のお知らせ」（当社）
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2052926/00.pdf>

(3) オキュラル保険収載

- ✓ 当社4つ目、眼科領域で2つ目の再生医療等製品である自家培養口腔粘膜上皮「オキュラル」が、2021年12月1日付で保険収載となり、発売を開始した。



販売：株式会社ニデック



【適応対象】

角膜上皮幹細胞疲弊症

【保険償還価格】（2021年12月1日～）

- | | |
|-------------|---------|
| ① 採取・培養キット： | 4,280千円 |
| ② 調製・移植キット： | 5,470千円 |

ポイント

- ✓ 世界初の口腔粘膜細胞を使った角膜治療製品
- ✓ 大阪大学から技術導入して実用化した国産の技術
- ✓ 当社既承認製品ネピックとのシナジー効果
(ネピックの適応対象外である患者さまの治療が可能)

(4) ホームページ充実度 ～新興市場表彰 優秀サイト～

- ✓ 日興アイ・アールでは、全上場企業のホームページ充実度を評価し、表彰企業を毎年公表している。
- ✓ 「2021年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」調査において、当社ホームページが、新興市場表彰の優秀サイト（30社）のひとつに選出された。

日興アイ・アール 「2021年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」

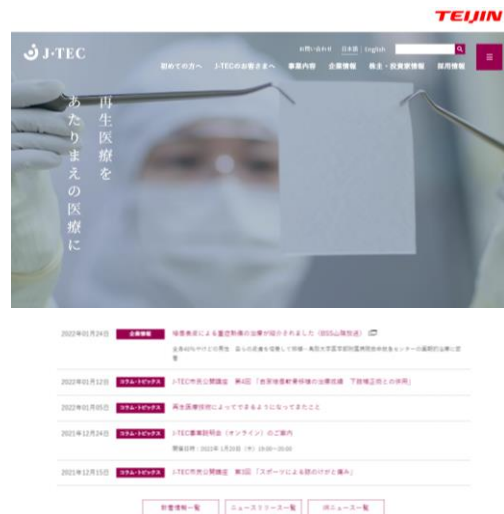
【コンセプト】

企業ホームページについて、株主、投資家、消費者、取引企業、就職希望者など、企業のステークホルダーが情報を取得し、状況を把握するための要素をどの程度備えているかを、日興アイ・アールが独自に調査

【対象】 全上場企業 3,888 社のコーポレートサイト

(2021年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果資料より抜粋)

当社サイト：<https://www.jp-te.co.jp>
《新興市場表彰》優秀サイト
(優秀：30社)



出典) 2021年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果 (日興アイ・アール)
https://www.nikkoir.co.jp/rank/pdf/nkir_result_2021.pdf

最新のトピックス：「経済産業大臣賞」を受賞

- ✓ 第10回 技術経営・イノベーション大賞において、当社は「日本初の再生医療等製品 自家培養表皮「ジェイス」の普及」に関する功績で「経済産業大臣賞」を受賞した。
(参考) 第9回の「経済産業大臣賞」は「社会の課題解決と価値創造に貢献するスーパーコンピュータ「富岳」」の功績で国立研究開発法人理化学研究所、富士通株式会社が受賞した。
- ✓ 治療困難であった重症熱傷治療におけるゴールドスタンダードとして多くの患者の救命に寄与していること、医療機関と連携して安定供給できる体制を構築した点や、累計1,000件以上の移植実績がある点など、開発のみならず製造、提供における功績が高く評価された。

第10回 技術経営・イノベーション大賞

経済産業大臣賞

「日本初の再生医療等製品 自家培養表皮「ジェイス」の普及」



出典) 第10回技術経営・イノベーション大賞 受賞者一覧 (一般社団法人 科学技術と経済の会)

https://www.jates.or.jp/management_study/management_of_technology_meeting/gikei_innovation_201607/10th_Kettei.html

第9回技術経営・イノベーション大賞 受賞者一覧

https://www.jates.or.jp/management_study/management_of_technology_meeting/gikei_innovation_201607/9th_Kettei.html

4. 通期業績予想の修正について

通期業績予想の修正について

- ✓ 2022年1月31日付で、下記のとおり通期業績予想を修正した。

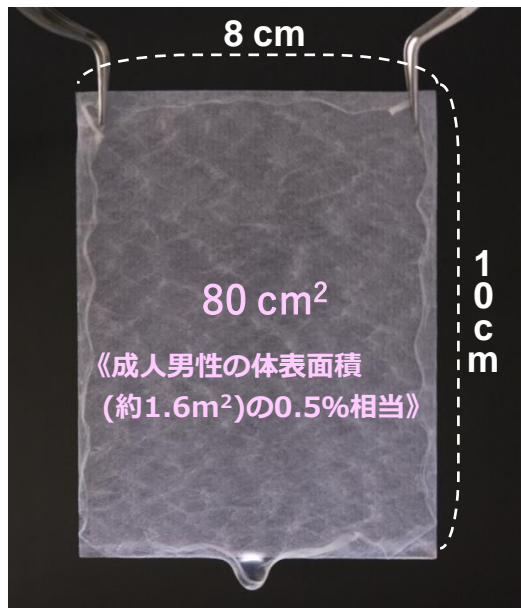
修正の理由

- ✓ 2021年2月から3月にかけて、帝人株式会社（以下、「帝人」）が当社普通株式に対する公開買付を実施し、その結果、2021年3月に当社の親会社及び筆頭株主が富士フィルム株式会社（以下、「富士フィルム」）から帝人へ変わった。これを受け、富士フィルムからの受託開発の取り扱いに関して同社と協議を重ね、これを継続しないことで合意し、取引停止することとなった。今年度内に引継ぎを完了する予定。この結果、当社の再生医療受託事業において、今年度に見込んでいた富士フィルムからの受託開発収入が大幅に減少する見込みとなった。
- ✓ 一方、これに伴い、再生医療受託事業において生じる人的余力とスペースについては、今後、帝人および第三者からの新規受託に充てるべく準備を進めており、来年度からはこれらの受託収入が加わる予定である。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2021年3月期 実績	① 修正前 2022年3月期 業績予想	② 修正後 2022年3月期 業績予想	②-① 対修正前	
				増減額	増減率
売上高	2,257	2,758	2,260	△498	△18.0%
再生医療製品事業	1,328	1,616	1,616	-	-
再生医療受託事業	721	871	373	△498	-
研究開発支援事業	207	270	270	-	-
営業利益	△466	△297	△450	△153	-
経常利益	△462	△292	△445	△153	-
当期純利益	△466	△295	△449	△154	-

5. 参考資料

自家培養表皮ジェイス



【適応対象】

1. 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象。

2. 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用。

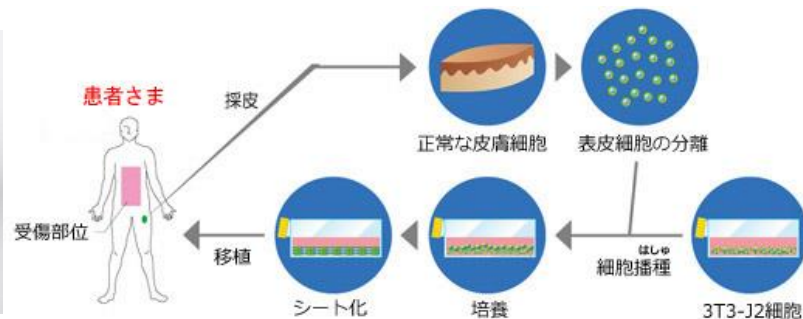
3. 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用。

【保険償還価格】（2019年10月～） ※消費増税により改定

- ① 採取・培養キット： 4,460千円
- ② 調製・移植キット： 154千円 /枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。・30枚（母斑）・50枚（表皮水疱症）



自家培養軟骨ジャック



【適応対象】

膝関節における外傷性軟骨欠損症

又は離断性骨軟骨炎（変形性膝関節症を除く）

の臨床症状の緩和。

ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm² 以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。

【保険償還価格】（2019年10月～）※消費増税により改定

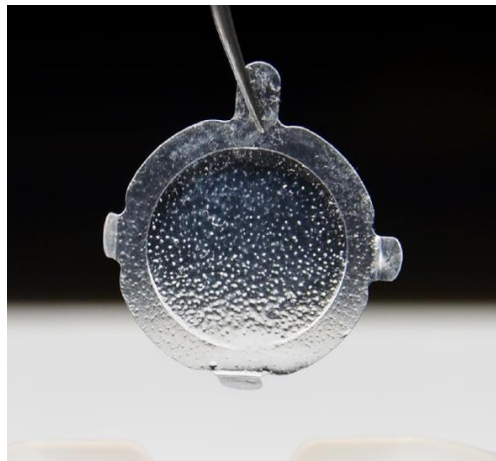
- ① 採取・培養キット： 895千円
 - ② 調製・移植キット： 1,270千円
- （使用した個数に係らない）



自家培養角膜上皮ネピック



販売：株式会社ニデック



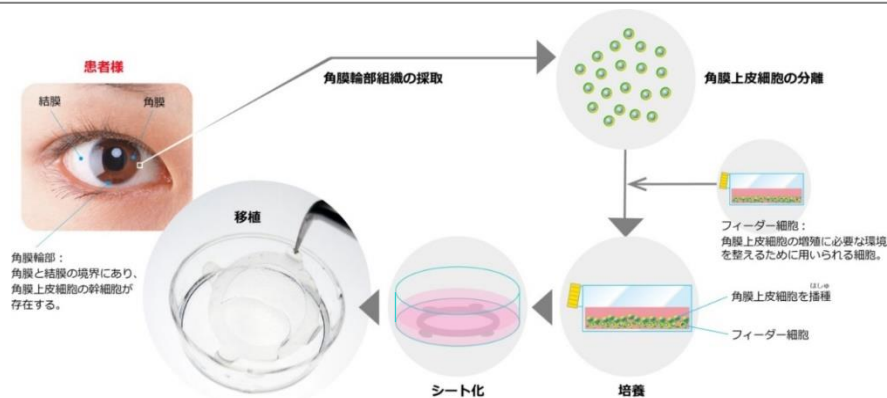
【適応対象】

角膜上皮幹細胞疲弊症 ただし、以下の患者を除く。

- ・ スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・ 眼類天疱瘡の患者
- ・ 移植片対宿主病の患者
- ・ 無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・ 再発翼状片の患者
- ・ 特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

【保険償還価格】（2020年6月～）

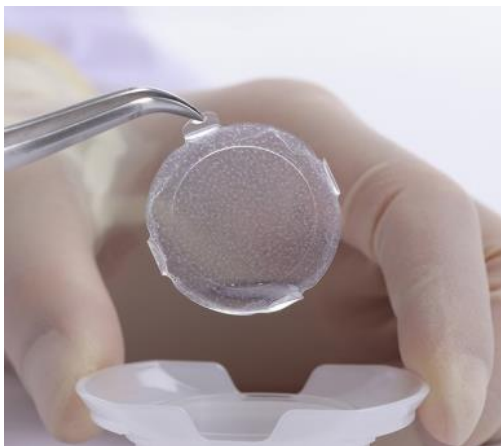
- | | |
|-------------|---------|
| ① 採取・培養キット： | 4,280千円 |
| ② 調製・移植キット： | 5,470千円 |



自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック



【適応対象】

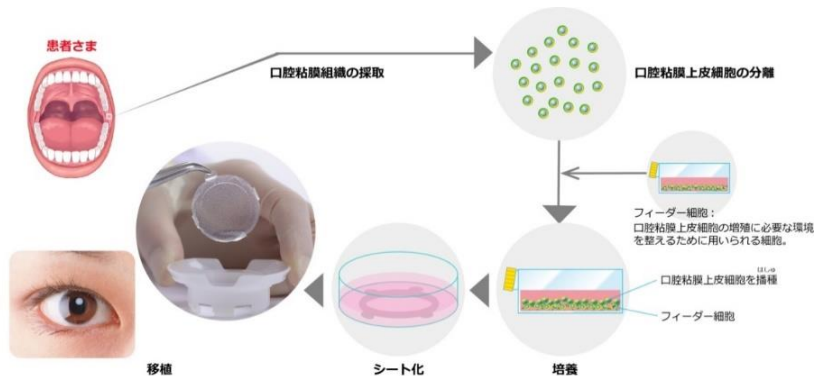
角膜上皮幹細胞疲弊症

【保険償還価格】（2021年12月～）

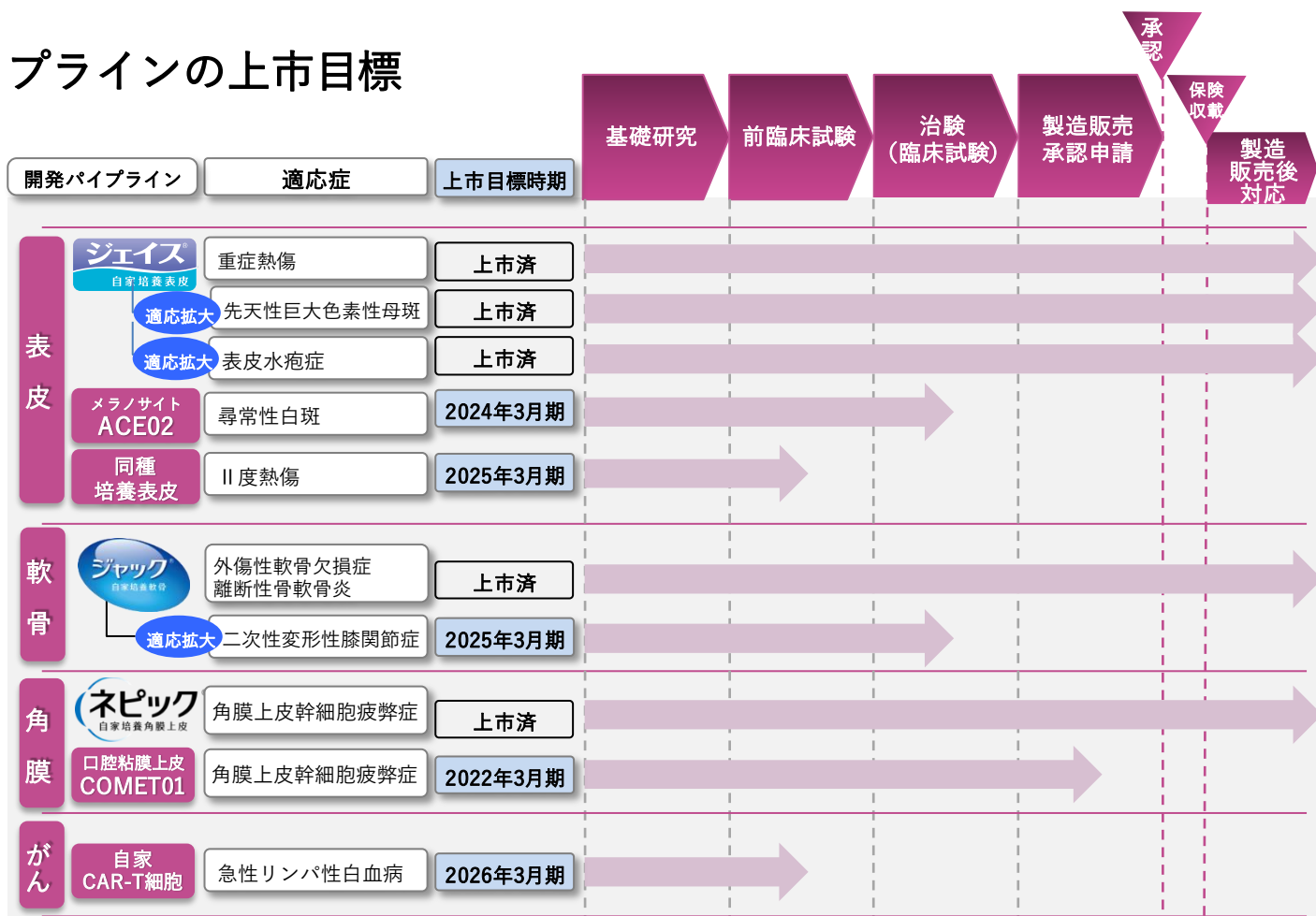
- ① 採取・培養キット： 4,280千円
- ② 調製・移植キット： 5,470千円

ポイント

- ✓ 世界初の口腔粘膜細胞を使った角膜治療製品
- ✓ 大阪大学から技術導入して実用化した国産の技術
- ✓ 当社既承認製品ネピックとのシナジー効果
（ネピックの適応対象外である患者さまの治療が可能）



開発パイプラインの上市目標



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

経営企画部

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp